

米子の識字学級と交流 ～異文化理解から多文化理解へ～

7月12日に、人権交流センターの調理室いっぱい、国際色豊かな会話が盛り上がりました。

この日は、人権交流センターの識字学級で活動をしているみなさんが、外国の文化や民俗に触れる機会にしたいと、米子の識字学級のみなさん（親子・関係者合わせて25人）を迎えて交流会を持ちました。

米子市の識字学級では、フィリピンやタイから来日し、米子で家庭を持ち、生活しておられる方々に、日本語の読み・書きを学習する日本語学習を中心にして取り組んでおられます。テキストは小学校の教科書やドリルを使用して、自分たちの子どもの教育内容に合わせてられるよう工夫されています。

今回の交流会では、それぞれの国の簡単な料理を一緒に作りながら交流を深めたいと、トムヤンクンやアドボ（豚肉のさつぱり煮）などのフィリピンやタイ料理に、日本のちらし寿司が加わりました。最初は少しかたさもありませんでしたが、次第に和気あいあいの雰囲気生まれ、楽しい料理作りにかわっていきました。

出来上がった料理を囲んでの食



ちらし寿司はしっかりあおいでネ

事も会話がはずみ、普段の識字学級とは違った雰囲気にも包まれました。最後に観光ブルーベリー園を訪れ、甘いか酸っぱいかワイワイ言いながら珍しさを堪能し、再会を約しての散会となりました。

最近「異文化理解」から「多文化理解」へ、と言われるようになってきました。異なった文化の存在を認め、それを理解するといった考え方から、多くの文化が存在していることを認め合い、それぞれの文化と共存共生していこうといった考え方に変わってきています。今回の交流会を通じて「異文化」から「多文化」へを考える機会となりました。

“親学”講座のおしらせ



学校教育と社会教育、それぞれの現場で活躍してこられた講師が、豊富な経験にもとづいて、幼児期の子育てに必要なこと、親としてぜひ心がけたいことなどを、わかりやすい語り口でお話されます。

とき 9月1日(水)
午前10時から11時30分
ところ 光徳保育所

テーマ 「家庭教育に必要なこと」
講師 大山中学校長 山根浩氏
その他
託児をご希望のかたは、8月19日(木)までに、教育委員会事務局(54-5211)へ申し込んでください。

主催
教育委員会・町内保育所・ふれあい会館